

採点の質を確保するための方策(ライティング)

試験名	採点者の応募資格	採点者の選出基準	採点者の質の向上策	採点体制
ケンブリッジ英語検定	原則、スピーキング試験官に必要なとされる資格要件と同じ	英国のケンブリッジ本部にて、採用、導入トレーニング、本トレーニング、採点スキル検定を含むライティング採点官のための完全質保証プロセスが構築されている。	英国のケンブリッジ本部にて実施。 ・高機能オンライン評価システム:ライティング用オンラインスクリプトを採点し、採点スキルを認証する質保証システム。採点スキル検定を実施。質保証管理の一環。 ・オンライン評価者システム:採点官が特定の受験者、言語グループ、出身国等に偏らないようシステムでランダムに選出される仕組みで管理。採点官の採点結果についても質と一貫性担保の観点からモニタリングを実施。	日本の試験センターが採点することは一切ありません。 英国のケンブリッジ本部にて、一元管理。
IELTS	<p><資格>学士号又は修士号保持者かつTEFL/TESOLなどの有資格者</p> <p><英語教授歴>16歳以上の英語を母国語としない学習者を対象とする英語指導歴3年以上またはそれに相当する指導歴を有する</p> <p><人間性、対人スキル>面接などにより基準を満たした人物であること</p>	・面接・トレーニング・試験の結果が世界共通基準を上回り、かつ採点者として公平かつ正確に言語能力を測定することができると判断されたもの	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得後も適宜トレーナーによるモニタリングを実施し、必要に応じて補習、研修などのサポートを提供しているため、世界標準に則した採点の質を担保している。 ・資格は2年に1度、研修受講後に更新試験を受け、合格した場合のみ採点官の資格更新ができる。 ・資格取得後であっても採点官として適性がないと判断に至った場合、直ちに資格を停止し、場合によっては試験官としての資格を再度得る権利も失う。 ・採点官は規定に従い、期間が開くことなく定期的に採点を行い、採点基準への理解を深め、質を一定に保っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公平性を保つために、複数名で採点の整合性を担保するシステムが世界的に確立している。 ・ライティングの採点は出題ごとに異なる採点者により採点される。 ・必要に応じて上級採点官によりモニタリングを受ける。
TOEFL iBTテスト	学士もしくはそれ以上の学位を取得し、高校、大学、または成人学習においてESL教育経験を持つ者	ETSの採点者トレーニングを受け試験に合格すること	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、採点当日に行われるチェックテストに合格しなければ採点は行えない。 ・採点リーダーが、常に各採点者の採点の正確性について監視している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・採点は、スコアの安全性や整合性を保証するため、テスト実施国・地域ごとではなく、採点ネットワークを通じて一元的に行われる。 ・採点者と自動スコアリングシステムの併用 ・受験者の出身国限定ではなく、多様な採点者で構成。 ・客観的な採点を行うため、回答以外の受験者の情報は採点者に提供されない。
GTEC	英語力と採点力を見極める独自の筆記試験および面接等を課し、ベネッセが定める選定評価基準に合格できた者。	英語力と採点力を見極める独自の筆記試験および面接等を課し、ベネッセが定める選定評価基準に合格できた者のみ選抜。更に研修を行い、修了テストで合格した者を選抜。	採点者個々に対し、定期的にベネッセの基準作成者・品質管理者が直接トレーニングや採点品質チェックを行い、モニタリングを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・採点センター内では、採点者、採点リーダー、採点監督者、品質管理者など品質担保が可能な組織体制を構築。 ・常に1つの解答を2名で採点。採点が異なる場合は上位の採点者が採点を確定する方式を採用。このことにより、公平・公正な採点を担保している。

試験名	採点者の応募資格	採点者の選出基準	採点者の質の向上策	採点体制
TEAP	英語力を証明する資格や英語教育に関する経験などを条件としている。	採用前トレーニングと採用テストを課し、一定水準を上回り、採点者として適切と判断されること。	<ul style="list-style-type: none"> 各回次で実際に出題する問題を使ったトレーニングを全採点者対象に行う。 予め基準となる評点を付与した答案を全採点者に採点させ、基準との差異が大きい採点者を採点業務から外す。 基準との差異が大きくない場合でも、採点の傾向を分析し、必要に応じてフィードバックを行う。 	採点を2名で行い、採点結果に差があった場合は、採点経験が豊富な採点者による再採点を行う。
TEAP CBT	英語力を証明する資格や英語教育に関する経験などを条件としている。	採用前トレーニングと採用テストを課し、一定水準を上回り、採点者として適切と判断されること。	<ul style="list-style-type: none"> 各回次で実際に出題する問題を使ったトレーニングを全採点者対象に行う。 予め基準となる評点を付与した答案を全採点者に採点させ、基準との差異が大きい採点者を採点業務から外す。 基準との差異が大きくない場合でも、採点の傾向を分析し、必要に応じてフィードバックを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各受験者の解答を出題される問題単位で分割し、複数の採点者に割り当てて採点を行う。 各受験者の答案は最低2名で採点し、2名の採点結果に大きな差異があった場合は、採点経験が豊富な採点者による再採点を行う。
英検CBT	英語力を証明する資格や英語教育に関する経験などを条件としている。	採用前トレーニングと採用テストを課し、一定水準を上回り、採点者として適切と判断されること。	<ul style="list-style-type: none"> 各回次で実際に出題する問題を使ったトレーニングを全採点者対象に行う。 予め基準となる評点を付与した答案を全採点者に採点させ、基準との差異が大きい採点者を採点業務から外す。 基準との差異が大きくない場合でも、採点の傾向を分析し、必要に応じてフィードバックを行う。 	基準に基づき必要と判断された答案には、採点経験が豊富な採点者による再採点を行う。
英検2020 1 day S-CBT	英語力を証明する資格や英語教育に関する経験などを条件としている。	採用前トレーニングと採用テストを課し、一定水準を上回り、採点者として適切と判断されること。	<ul style="list-style-type: none"> 各回次で実際に出題する問題を使ったトレーニングを全採点者対象に行う。 予め基準となる評点を付与した答案を全採点者に採点させ、基準との差異が大きい採点者を採点業務から外す。 基準との差異が大きくない場合でも、採点の傾向を分析し、必要に応じてフィードバックを行う。 	基準に基づき必要と判断された答案には、採点経験が豊富な採点者による再採点を行う。
英検2020 2 days S-Interview	英語力を証明する資格や英語教育に関する経験などを条件としている。	採用前トレーニングと採用テストを課し、一定水準を上回り、採点者として適切と判断されること。	<ul style="list-style-type: none"> 各回次で実際に出題する問題を使ったトレーニングを全採点者対象に行う。 予め基準となる評点を付与した答案を全採点者に採点させ、基準との差異が大きい採点者を採点業務から外す。 基準との差異が大きくない場合でも、採点の傾向を分析し、必要に応じてフィードバックを行う。 	基準に基づき必要と判断された答案には、採点経験が豊富な採点者による再採点を行う。

※本資料については、各試験実施主体からの回答をもとに、文部科学省でとりまとめたものとなります。